



1 勝田工、賑やかに母校訪問!



恩師を囲む学生達

9月22日(月)、県立勝田工業高等学校の卒業生5人が、母校を訪ね、お世話になった先生方に大学校での成果を報告しました。

当時、学年主任の平間先生は「皆さんが来校し、直接成果を聞いて嬉しい」と話されていました。中嶋洋介先生は「これからも成長を止めない姿勢が大切」とエールを頂きました。セキュリティコース2年の清水響暉さんは「恩師からアドバイスを頂き嬉しい」と気持ちを引き締めていました。

左から 馬場晃一さん(進学:情報テクノロジー大学校)
村澤伸也さん(進学:情報テクノロジー大学校)
飛田美優さん(就職:NAIS(株))
二瓶海斗さん(進学:情報テクノロジー大学校)
清水響暉さん(就職:株式会社NESI)



恩師と学生たちの報告会の様子

2 セキュリティー守る学生達



県警察本部サイバー企画課が主催する「サイバー防犯ボランティア委嘱式」が、8月18日(月)に開催され、本学生産管理コース2年の山中悠梨音さんの他、7名が委嘱されました。山中さんは「改めて地域の安全を守る責任の重さを実感しています。サイバー犯罪防止に向けて、大学校でのIT技術の学びを活かしたい」と笑顔で話していました。

3 応用情報技術者試験合格体験記!

情報システムコース2年 飛田美優さん(勝田工高卒)



基本情報技術者試験に合格することができ、更にステップアップしたいと考え、応用情報技術者試験に挑戦しました。応用情報技術者試験は年に2回、春期と秋期に実施されます。昨年度の秋期試験では不合格の結果となり、悔しい思いをしましたが、今回の試験でリベンジを果たすことができました。

応用情報の午前試験では、複数の選択肢から正しい回答を選ぶ問題が出題されます。私は、応用情報の過去問を解くことのできるWebサイトを使って反復学習を行いました。くり返し過去問に解答することで、自分が間違えやすい問題の傾向をつかむことができました。何度も間違えてしまう問題については問題の解説を読んだり、問題に出てくるキーワードについて調べたりすることで、できるだけ知識が定着するように心がけました。

午後問題では、記述式の問題が出題されました。試験回によって出題される問題が大きく異なるので、午前問題と比べて難易度が高く感じました。午後問題は、解答が必須である情報セキュリティのほかに、自分で選んだ4つの分野の問題に解答します。私が試験当日に選んだ分野は、システムアーキテクチャ、ネットワーク、組込みシステム開発、情報システム開発です。

セキュリティやネットワークの分野では、1年生の座学やネットワーク実習で勉強した内容の復習を行いました。特に、サイバー攻撃の種類、IPアドレスやネットワーク機器の役割についてしっかりと理解しておくことで、問題に落ち着いて取り組むことができました。また、各分野の過去数年分の問題に取り組んでみて、どの分野が自分の得意分野なのか把握しておくことも大切だと思います。過去問のなかでわからない単語が出てきた場合には、すぐに調べてメモをとるようにしました。これにより、長い問題文のなかからキーワードを見つけ、問題の意味を正しく捉えることができるようになりました。

応用情報を受験してみて、午前問題・午後問題の両方で、必ずIT短大で学んだ知識を活かせる場面があると感じました。受験を考えている人は、授業で得た知識を活用してぜひとも挑戦してみてください!

